

信州フランス鴨

～美味しさのヒミツ～



Sanae

北山早苗

信州フランス鴨



Sanaa

信州の澄んだ空気や水、美しい自然の中で育った
『信州ブランドのフランス鴨』



松本平や安曇野のレストランでも
美味しいと評判です。

Sanaa

4月初めに長野県立南安曇農業高校に、
フランス鴨の赤ちゃんが到着しました。



笹井俊一会長さん

前の日に青森で生まれ、飛行機で羽田までやって
来た赤ちゃん鴨。信州フランス鴨の会の会長が
車で迎えにいき、信州安曇野に運ばれて来ました。

4. 鴨の赤ちゃん

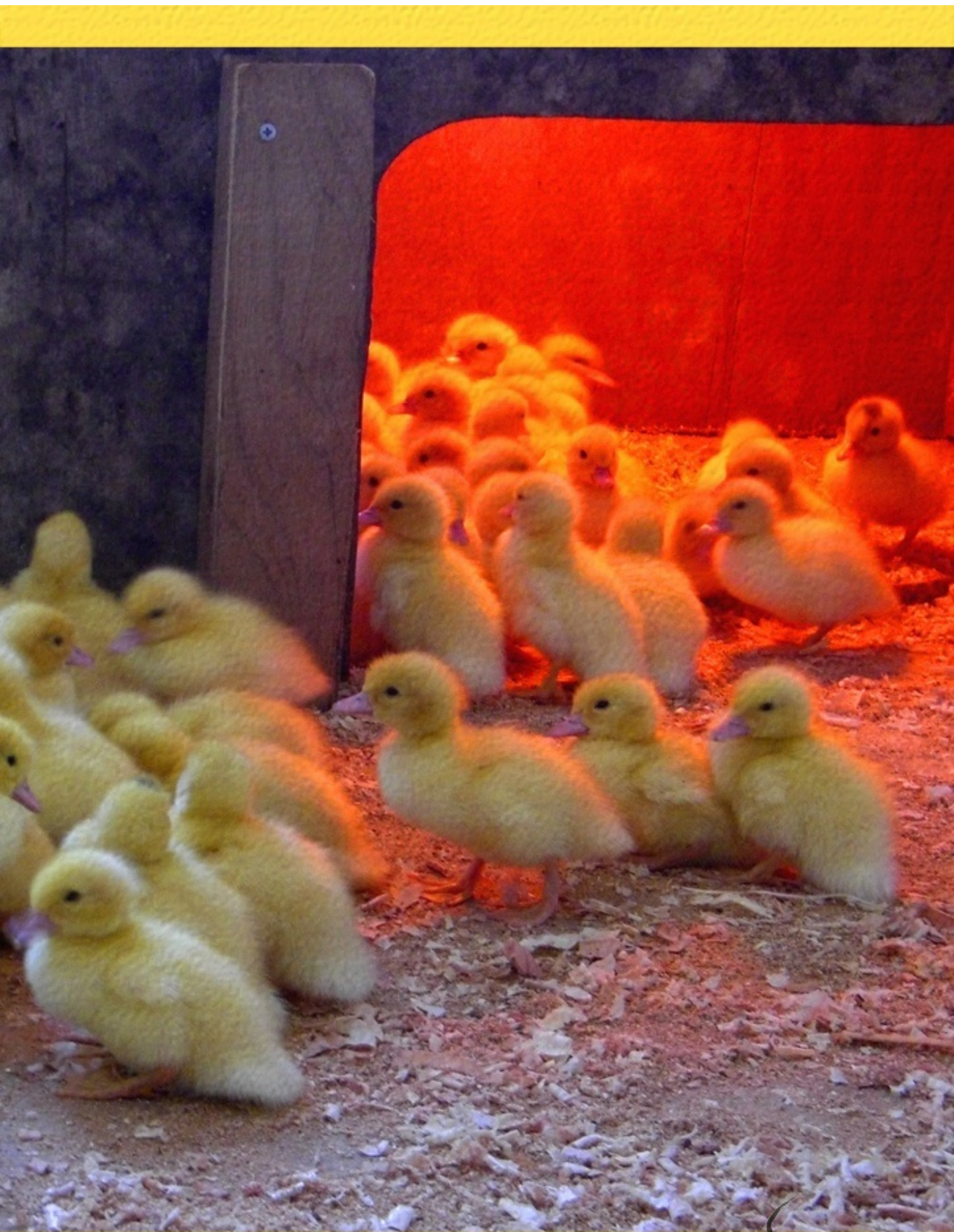


Sanaa

昨日は信州フランス鴨を美味しい美味しいと
食べておきながら、赤ちゃん鴨に思わず
「可愛い～」の連発！！



だけど、ウ～ン、この可愛い赤ちゃん鴨も
大きくなって、やがて食べられてしまうの
・・・複雑なキモチ。



フランス鴨の赤ちゃんたちは、南農高校の温かい
保育器や保育室で、10日間過ごします。



南農高校の先生

笹井会長さん

少し大きくなって、春とはいえまだまだの
信州の寒さに耐えられるようになった頃に、
『かもーる』へ引き取られます。

保育器へ移して間もなく、高校生たちが
「可愛い～」と言いながらやってきて



さっそくお世話を始めました。

南農高校では、信州フランス鴨の孵化にも
チャレンジしているようで、奥には
成鳥になったフランス鴨が飼育されていました。



「可愛いのが、あんなになっちゃうんですよ」と
生徒に言われて見に行くと、ビックリ！
大きくて七面鳥のような面構え。

雌鴨にアタックしようとして奮闘中の雄鴨と、
その周りで駆け回る雄鴨もいて、迫力があること。



ここまで育つと、お肉も固くなってしまうようで



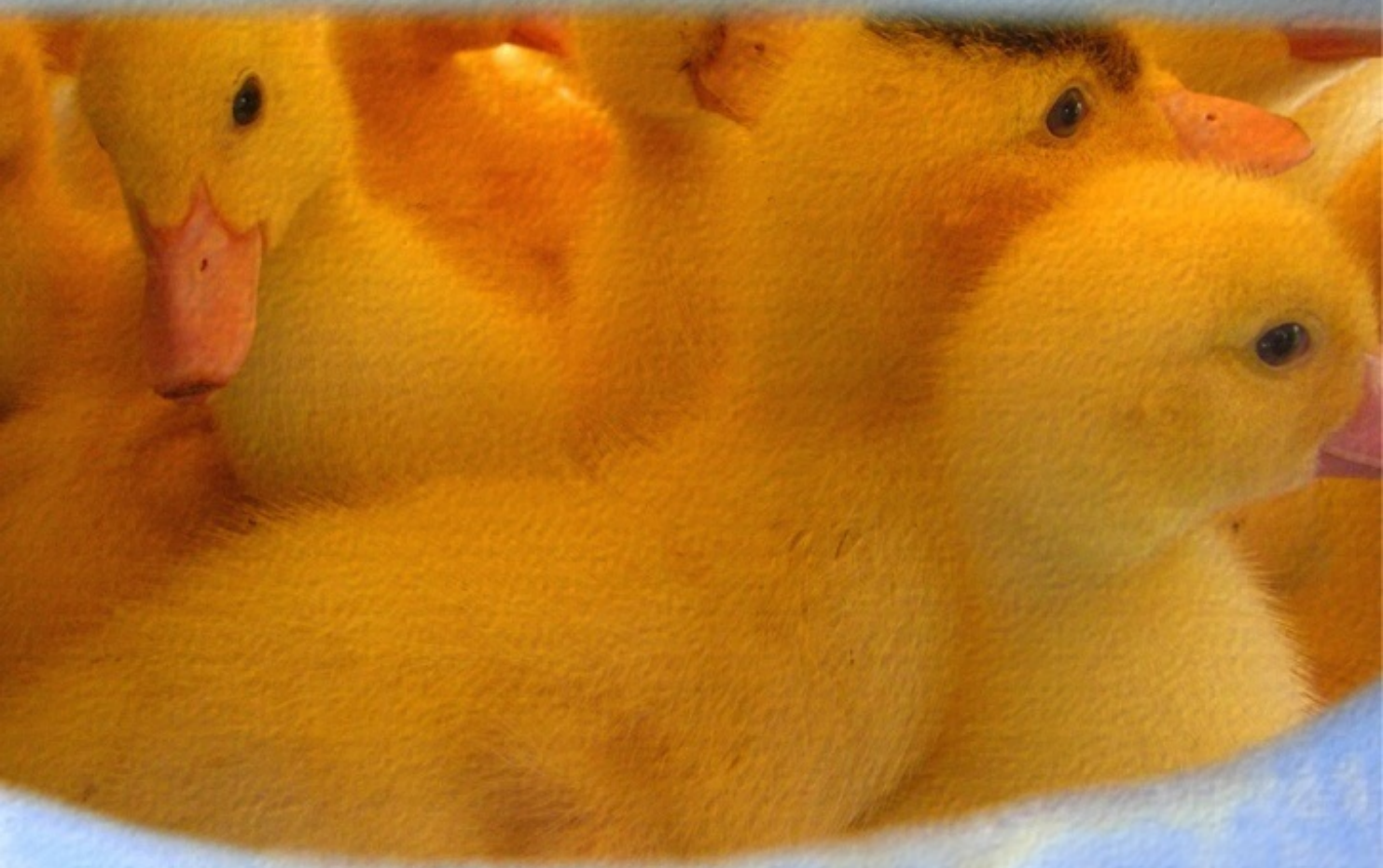
ここの鴨さんたちの役割は産卵と高校生の実習です。

お掃除している生徒たちは、机に向かってばかりの高校生より、なんだか輝いている感じ。



とてもさわやかでした。

信州フランス鴨の美味しさのヒミツ1.
『愛情をたっぷりかけてもらい育つこと。』



鴨の赤ちゃんたちも、ここにいる10日間、
高校生たちにいっぱい愛情を注がれます。

(つづく)

Sanaa



松本のために、信州のために、地球のために

北山 早苗



法政大学文学部哲学科を卒業後、小学校教諭を12年間勤める
▼97年NECマルチメディアアート大賞受賞 ▼2000年
田中知事誕生に、松本・安曇野の勝手連中心メンバーとして
活動 ▼03年長野県議会議員に初当選。現在2期目。



Eメール ▼sanae@k-sanae.name

さわやか早苗日記

▼<http://sanae.voicejapan.net>

Sanae